

兄弟句碑

星宮公民館 新井昭蔵

当地区下川上、浄泉寺本堂前に在としては珍しい兄弟句碑がある。右に兄の田子水鴨、左に弟の田子鴨汀。

句は、

「吾子の墓 川見ゆるまで 草を刈る 水鴨」

「麦は穂に 二十歳の命 短かりき 鴨汀」

共に先立たれた吾が子を儂み、いとほしんでの切々たる句である。

碑裏には、

「此の地に生まれ、俳句を愛し、余多の俳人を育成せしめたる故水鴨師の七回忌を修し其の威徳を忍ぶと共に、浄泉寺俳句会を昭和二十三年依り今日に至るまで指導せし鴨汀師の苦勞に感謝し此れを建立する。平成五年一月吉辰 浄泉寺二十八世天應清寿代」

と刻まれている・

なお本堂内に、浄泉寺四季と題する水鴨師の掲額もある。

水鴨師はその作品と指導力を評価され俳誌夏草主宰、山口青邨先生より「夏草功労章」を授与された。昭和三十年の事であり三三歳の若さであった。一方、鴨汀師も又「夏草二十代の作家達」数人の中に選ばれるなどその活躍振りも顕著であった。

昭和四十年代には、いち早く公民館定期講座に俳句を取り入れ、初心者と俳句人口の拡大、とりわけ、女流の発掘に意をつくされた。



(熊谷市公協だより 第33号 平成12年より)